



貴山

建設業

復興支援



運転手・誘導員・オペレーターがつながり 福島復興現場で無事故を維持

貴山株式会社では、福島の復興支援事業にBuddycomを活用しています。事故のリスクが常につきまとう建設・土木業界にあって、貴山の福島復興現場ではこれまで無事故を維持しています。

福島復興支援の現場は複数の市町村にまたがる広いエリアに分かれており、従来の無線機では通信距離に限界があったため、離れた現場にいる従業員との連携ができませんでした。また、両手にグローブを着用し泥で汚れることも多いため、伝えたいことがあるたびに電話をしたりスマートフォンを頻繁に触ったりすることは避けたい、という課題もありました。

専用無線機や無料IP無線アプリと比較検討した結果、**通信距離が無制限で、セキュリティ面もしっかりしている**ことからBuddycomを選定。すでに複数の大手有名企業に導入されていた点でも信頼できました。

敷地内でのダンプカーの誘導や、重機の積み下ろし、出入口から離れた道路上での交通整理など、運転手・オペレーター・誘導員がBuddycomでつながることで、**離れた場所からでも即座に危険を知らせ、事故を未然に防ぐ**ことができます。



秒単位で密な連携を実現 スムーズに土木の現場が動く

主な使用機能



グループ通話



個別通話



通話履歴の再生



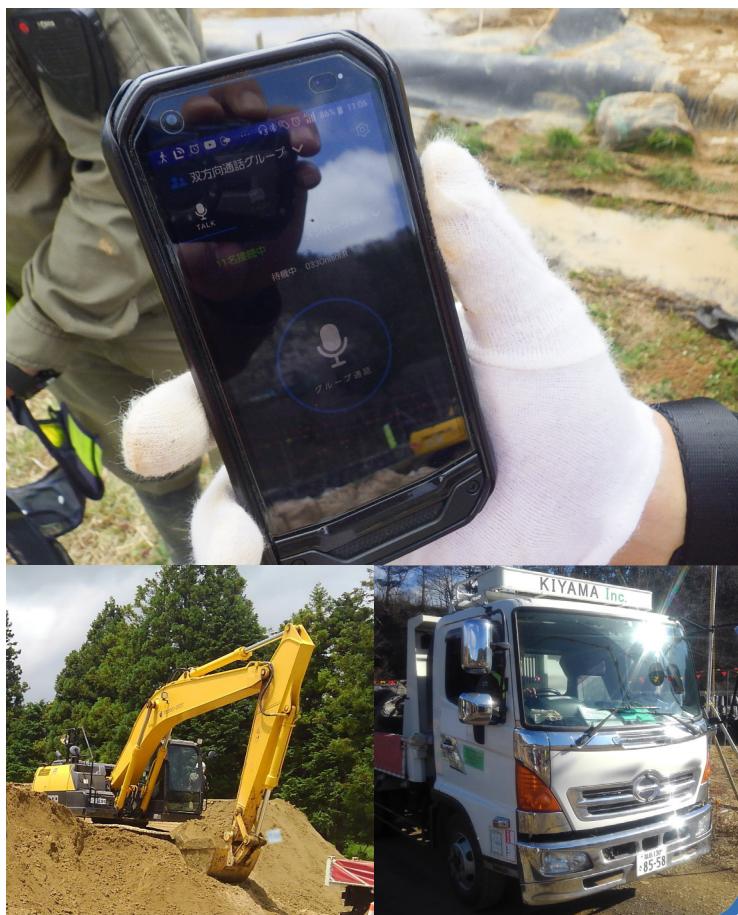
定型文の送信

広大な現場でも秒単位で連携 配車もスムーズ

作業現場が広大なエリアに点在するなか、Buddycom+AINA PTT Voice Responderで従業員が連携し、効率よくダンプカーを配車できています。搬出する荷物の固有番号は、二本松の事務所の事務員がBuddycomで受信してシステムに登録。聞き間違いを防ぐため、聞き直し機能も活用しています。

堅牢なスピーカーマイクと 定型文で安全を徹底

耳を塞ぐ機器は事故につながるため使わず、防水・防塵・ノイズキャンセラー付きの堅牢なBluetoothスピーカーマイクを採用。雨天や騒音下でも通信でき、ハンズフリー運用が可能です。「熱中症」「地震発生時の安否確認」など目的別の定型文で、全従業員への注意喚起にも活用しています。



導入前の課題

- 現場が複数の市町村にまたがり、従来の無線機では通信距離が足りず離れた現場と連携できなかった
- 両手にグローブを着用し泥で汚れることも多く、電話やスマホの頻繁な操作は避けたかった
- 広域に点在する現場で、運転手・誘導員・オペレーター間の即時連絡手段が必要だった

ご担当者コメント

貴山では創業以来、現場は無事故ですが、Buddycomでコミュニケーションを密に取り従業員の気を引き締めることで、引き続き事故やヒヤリハットを防ぐことができます。Buddycomの利用で建設・土木業界全体の事故率が減少することを期待しています。



株式会社サイエンスアーツ

東証グロス:4412

www.buddycom.net